



アグリビジネス



飲食業



財務  
アドバイザー



M&A

# アグリビジネス・飲食業 ディールトラッカー

2020年10月





報告期間の2018年1月～2020年6月における世界のM&A案件は**2022**件。

取引件数倍率の中央値は過去7年同期に比べ**10.1倍 → 11.3倍**に増加。



新型コロナウイルスと貿易緊張の高まりの結果、2020年度末の取引倍率は**マクロ経済低迷**の影響を受けた。



世界の新規公開株(IPO)の**96%**はアジア太平洋地域で実施された。



2020年上半期の**世界の取引量**は、新型コロナウイルスの流行にもかかわらず、わずかな減少にとどまり、**堅調に推移**した。



**54**件の新規公開株(IPO)が当報告期間中に世界で記録された。



オーストラリアは、オーストラリア産農産物の持続的な人気により、取引期間中**世界5位**にランクイン。



国際投資家・外資企業による取引は、2020年中のより厳しい外国投資審査委員会(FIRB)による一時的な措置により苦戦すると思われていたが、実際の取引にはまだ反映されていない。



当報告期間中に売却されたオーストラリア資産の**73%**は、国内で取得され、残りはアジア太平洋、北米、ヨーロッパ地域からのものであった。

## 数値



“投資の観点から見てみると、関心が高級品から食の安全性、商品としての主食品目への投資、一次生産者を支援するビジネスへとシフトしているのを目の当たりにします。

この傾向は、新型コロナウイルスによる厳しい経済的影響を乗り切った事業に強い関心を寄せている数多くのプライベート・エクイティ・ファンドによる投資にも見受けられます。

“アグリビジネス・飲食業セクターにおける投資・M&Aの機会は豊富に存在します。”

グラントソントン・オーストラリア M&Aパートナー キャメロン・ベーコン

# 序文

## 2020

本報告書はグラントソントン・オーストラリアのアグリビジネス・飲食業ディールトラッカーの第3版です。2018年1月1日から2020年6月30日(当期)の2年半にわたるアグリビジネス・飲食業セクターにおけるM&A(合併・買収)および株式市場活動に焦点を当てています。弊社の過去のアグリビジネス・飲食業ディールトラッカーは、2017年12月31日までの7年間をカバーしています。

本報告書のデータは、S&P Capital IQ、オーストラリア証券取引所、Mergermarket、IBISWorld、企業発表、その他の公開情報を含むいくつかの情報源を基に編集しました。最近のアグリビジネス・飲食業界の取引活動についての包括的な洞察を提供するために、この統合されたマルチソース分析(独自の情報源によって補足されたもの)を実施しました。

対象企業の主要サブセクターがS&PキャピタルIQにより以下のいずれかに分類される取引について検討しました:



### 包装食品・肉類

乳製品、果汁、肉、鶏肉、魚、ペットフードなどの包装食品の生産者。



### 酒類製造業

ビール、麦芽酒の製造業者。飲食店サブセクターに分類されない醸造所を含む。



### 農産物

農作物生産者。作物生産者、農園の所有者、食品を生産・加工する企業を含む。「木材」サブセクターに分類された企業、および「包装食品・食肉」サブセクターに分類された食品をパッケージ化し販売している企業は除く。



### 蒸留酒製造業者とワイン醸造業者

「ビール工場」サブセクターに分類されていないアルコール飲料の蒸留業者、ワイン醸造業者、および生産者。



### 清涼飲料

ミネラルウォーターを含むノンアルコール飲料の生産者。「包装食品」のサブセクターに分類された乳製品生産者を除く。



# 目次



FIRB, テクノロジー & 取引	08
サブセクターの構成	10
M&A 取引	13
投資家・買収者の統計	19
取引倍率	23
新規株式公開(IPO)	27
グラントソントンについて	32
付録: 経営者の皆さまへ	35

# アグリビジネス・フード・ビバレッジへの投資テーマと傾向

アグリビジネス・フード・ビバレッジ業界は生活、ビジネス、取引が続いていることの証である。長引く干ばつ、洪水、貿易戦争、世界的なパンデミックを通じて、世界のアグリビジネス・フード・ビバレッジ業界は生き残り、繁栄してきた。

投資の観点から、高級食品・飲料品に対する伝統的な投資ファンドの関心から、食料確保に焦点を当て、商品としての主食品や一次生産者を支援する事業に投資する方向への変化を目の当たりにしている。このテーマは、新型コロナウイルスによる厳しい経済的影響を克服した事業に強い関心を寄せている数多くのプライベート・エクイティ投資家にも見受けられる。

他の多くの産業が横ばいであった時代に、オーストラリアの農業がその回復力、安定性、反循環的傾向を示したことは疑いの余地がない。2020年を通して、より厳格な外国投資審査委員会(FIRB)の規制は、バリューチェーンが業界全体の目標である豪\$1,000億産業に確実に到達するために必要とするインバウンド投資に重大な影響を与えたであろうと予想された。しかしながら、これは2020年6月30日までのデータにまだ反映されておらず、2020年下半年以降への影響はまだ見えていない。

## 投資テーマ:



新型コロナウイルス前  
2018 - 2019

- 原産地/サプライチェーンの完全性
- 利益率の高いブランド食品・飲料製品
- 健康食品・代替食品
- 作物保護
- 垂直統合
- 一次生産(飼料・灌漑・農学)への投資
- 輸出準備/対応可能
- ジン/ウイスキー
- クラフトビール

## パンデミックの間に復活した投資テーマ:



新型コロナウイルス中  
2020

- 食料確保
- サプライチェーンの確保
- 企業内/国内製造
- 主食品
- 反循環的資産(一次産業)
- 国内重視の消費



次は?

## 「ニューノーマル」経済の更なる牽引が期待される今後の投資テーマ:

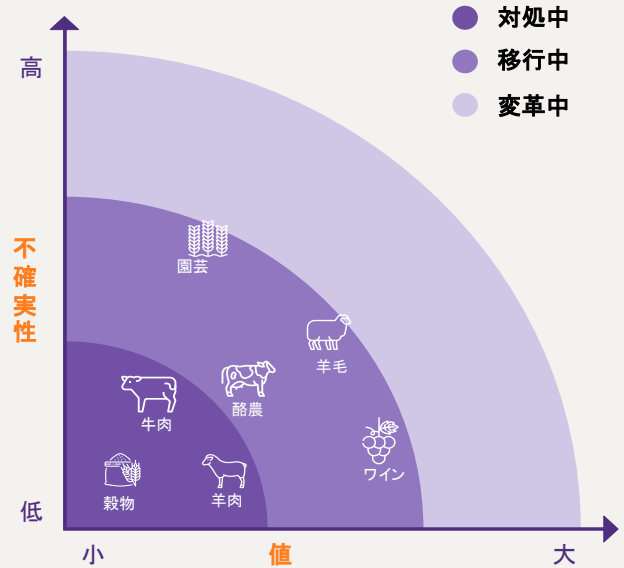
- 一次産業の代替案(ラボで製造された肉・牛乳等)
- アグリテック
- 食料テック
- 水テック

パンデミックの影響については次のページへ。

# コロナウイルスの影響

## サプライチェーンへの影響

- **買い占め**は購入のタイミングに短期的な変化をもたらした。
- **ロックダウン**は外食産業への供給や営業する事業に多大な影響を与えた。消費者は購買習慣を価値の低い主食料品へとシフトさせた。
- 食肉加工業と家畜輸出業は**突発的な発生**を経験しており、これが商品の需要と価格に大きな影響を与えている。
- 最も影響を受けた産業には、水産食品、ワイン、園芸、毛織物、および一部の肉・乳製品である。
- 世界的なロックダウンで衣料品販売が停止したため、オーストラリアの毛織物への需要は急落した。
- **エンド・マーケット戦略**のシフトは全面的で、高価格商品生産者は、家庭用品を直接配達するオンラインの手段を優先している。



Source: <https://www.agriculture.gov.au/abares/research-topics/agricultural-outlook/agriculture-overview>

## 取引・M&A

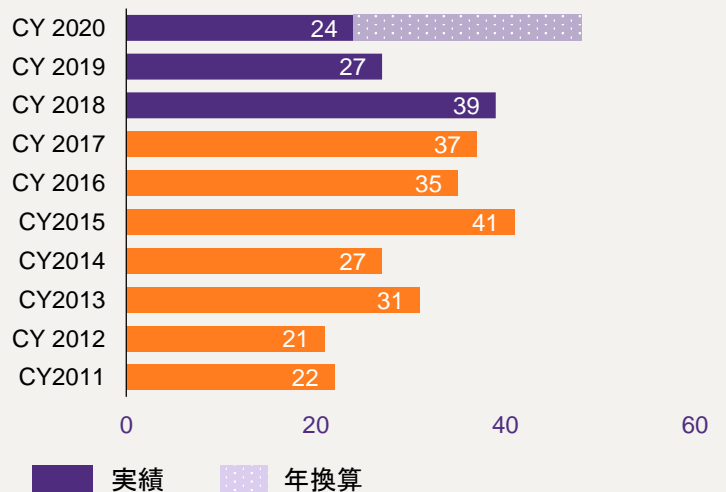
2020年上半期からのデータでは、その影響は、良くも悪くも、未だわからない。新型コロナウイルスの本格的な影響を測定することは困難ではあるが、取引件数は引き続き堅調に推移し、2015年の実勢を上回っている。

同セクターの大部分は業界平均を大きく上回る実績を示しているが、2020年下半期以降は取引件数が減少する可能性もある。

このパンデミック間、政府支援 JobKeeperや銀行による元本と利払いの繰り延べ、破産法の一時的な改正などが重なって、苦境にある企業にライフラインを提供したものの、他の企業にとっては避けられないことを遅らせただけかもしれない。

チャンスが浮上したときに、積極的に行動する準備ができている国内外の投資家がいることは明らかである。

## オーストラリアのM&A 取引件数



# FIRB、テクノロジー、取引





## 外国投資審査委員会 (FIRB)

オーストラリア豊富な食料に対する国際投資への関心の高まりや、今後の世界的なパンデミックの影響を考慮し、FIRBは2020年3月29日に新たな「一時的な基準」を発表した。

これらの基準の改正により、外国企業買収・買収法(FATA)に基づき、外国企業または個人によるすべての投資に対する金銭境界額は豪\$0になった。

さらに、FIRB申請の承認見込みが30日から6ヶ月に延長された。

このような変化の中で、オーストラリアのビジネスと雇用を支える投資が優先されていることは強調すべき点である。

このより厳しい基準が適用された例として、China Mengniu Dairy Company Limitedに対するLion Drinks Pty Ltdの売却提案の阻止が挙げられ、理由は、この取引がオーストラリアの「国益」に合わなかったからである。

2020年6月5日、FIRBは下記の事項を遂行するために体制を恒久的に変更することを発表した:

- 国家安全保障上のリスクに対処すること
- FIRB承認条件をより一層遵守すること

これらの変更は、2021年1月1日に施行されることが提案されており、機密性の高い「国家安全保障ビジネス」へのすべての外国投資に対して、恒久的に豪\$0の境界値を設けることになる。他の外国投資は、2020年3月29日以前のハードルに戻る見込みである。

FIRBによって「国家安全保障ビジネス」がどのように定義され、どのように解釈されるかは、まだ明確ではないが、Lion Drinks Pty Ltd取引の例を考えると、アグリビジネス・フード・ビバレッジ業界が影響を受けないとは考えにくい。

## アグリテックとフードテック

新鮮な生産物の確保は消費者にとってこれまで以上に重要であり、アグリビジネス・フード・ビバレッジセクターはテクノロジーの利用に伴って進化している。インターネットに接続された器具やプロセスは、今や、効率的な水の利用を確保し、気象パターンを予測し、害虫を監視・処理し、「水田から料理まで」の食料の行程を追跡するために利用することができ、消費者や企業に多くのESG(エコロジー、社会、ガバナンス)、金融面およびマーケティング面での利益を提供している。

世界中のアグリビジネス・フード・ビバレッジセクターでは、技術革新が重要な投資分野であり、関心を集めているが、これらの取引は、市場外で行われる初期および成熟期のベンチャー企業において、これらの取引の大部分が少数持ち株資本調達であるため、報告された取引にはほとんど表れていない。

このような事業が成熟するにつれて、連結、投資ファンド持分、上流または下流の投資(John DeereやNutrienなどのグローバルアグリビジネス・フード・ビバレッジ事業による)の必要性から、取引が大幅に増加することが予想される。

アグリテックやフードテックは、関連する商品リスクのため、通常はこのセクターを回避していた投資家からの関心を集めている。現在、既存事業を、商業化されたテクノロジーをベースに次のような理想的な候補者のために精査している:

- 大きな参入障壁
- 頑丈な差別化ポイント
- 全国的でグローバルな拡張性
- 論理的な次のテクノロジー所有者

## 2020年6月30日以降の取引

6月30日以降に発表された以下のような多数の案件(2020年度上半期中に完了した案件と同様)は、世界的な景気後退前にそのプロセスを開始したであろうと推測される:

- ROC Partners はGippsland に拠点を置く養液栽培トマト生産会社Flavourite Groupに出資
- Tanarra Capitalが有機的な垂直統合を行っている乳業事業のBarambah Organicsの大部分を取得
- Enco Refresh [ASX:ERG] はB2BおよびB2Cの水調達・配送事業であるJB精製飲料水を買収
- Buderim Gingerは資産をHimstedtに売却

4月、5月、6月の各月においては、全般的に新規取引開始の鈍化が見られ、2020年下半期には取引件数の減少が見込まれることから、2021年上半期に影響が及ぶ可能性が高い。

それにもかかわらず、同セクターは回復しており、今後数カ月の間にいくつかの案件が完了すると見込まれている:

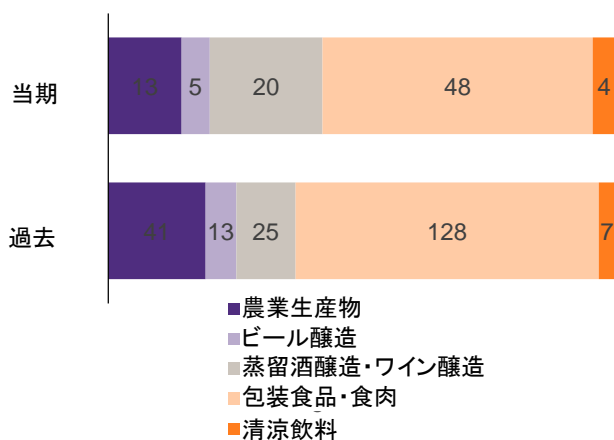
- FC Capitalは、ビクトリア州に拠点を置く青果物生産会社、Richmondのポートフォリオ企業、Nutral Produceの柑橘部門の売却を検討している
- JG Boswellからニュー・サウスウェールズに拠点を置く綿花生産者Auscottを買収することに大きな関心を示したファンドやプライベート・エクイティ会社は数多く存在
- 西オーストラリア州の牛舎Jubilee Downsは多くの買収者が集まるとみられている
- Next Capitalは、ニュー・サウス・ウェールズに拠点を置く花栽培者のLynch Groupへの投資から撤退する計画を再燃させている
- 数多くの企業がRidley Corporation [ASX:RIC]やSunny Queen Farms and Farm Pride Foods [ASX:FRM]などの買収を視野に入れている



## サブセクターの構成

# オーストラリアのM&A案件： サブセクター

## オーストラリアの取引量

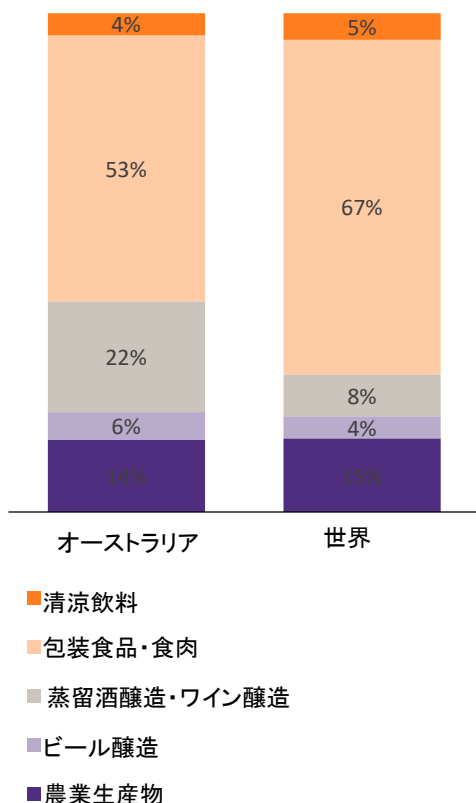


オーストラリアのアグリビジネス・フード・ビバレッジ資産は、清潔さ、良い評判、品質の高さにより引き続き国内外の買収企業から強い注目を集めている。アジアに近く、生産能力の高さから、農作物からブランド化された消費者向けの食品・飲料に至るまで、成長を拡大させてきている。

### 包装食品・食肉

包装食品と食肉は、引き続きオーストラリアの取引活動の中心であるサブセクターであり、当期の全セクターの約53%(48件の取引)を占めている。この構成比は、当期の世界的サブセクター構成比約67%と比較するとやや低く、その差は当期のオーストラリアの蒸留酒製造業、ワイン醸造業サブセクターの好調に起因している。

## 当期取引高分析



2018年の包装食品・食肉サブセクターにおける注目すべき案件には、Saputo Dairy Australia(カナダ上場企業の親会社)による、オーストラリア最大の牛乳加工会社であるMurray Goulburn Co-Opの豪\$17億8,200万での買収が含まれている。この取引はACCCと外国投資審査委員会(FIRB)の審査を受け、Murray GoulburnのKoroit工場の売却を含む引受を条件に承認された。

また、冷凍フライドポテト製品メーカーのMarvel Packersが豪\$9,000万で米国のLamb Westonに買収された案件も含まれている。Lamb Westonへの売却に先立ち、Marvel Packersは、投資ファンドのSilverfern GroupとDirect Capitalによって2017年に非公開の金額で14ヶ月前に買収されていたこともある。

このサブセクターにおける2019年のその他の重要な案件には、China MengniuがBellamy's Australiaを豪\$13億で買収し、日清製粉がAllied Pinnacleを豪\$9億5,000万で取得したことが公表されている。

# オーストラリアのM&A案件： サブセクター

## 醸造業

当期のCapital IQ データによれば、醸造業サブセクターにおける記録された取引高は限られたものにとどまり、過去2.5年間に計上された取引は5件にとどまった。具体的には、日本企業のアサヒオーストラリアによる豪\$160億でのCUB買収が挙げられる。この取引は、2020年5月に取得したFIRBの承認に加え、アサヒの既存のオーストラリアの市場シェアの結果、ACCCの精査を受けることができた。ACCCは、競争上の懸念に対処するため、アサヒのビールブランド2社とサイダーブランド3社を売却することを条件に、この取引を承認した。

このサブセクターに含まれるその他のオーストラリアの案件：

- CUB Pty Ltdがゴールドコーストに拠点のあるBalter Brewing(Mick FanningとJoel Parkinsonが設立)を買収。金額は未公表。
- Advent Partnersは2018年3月にTribe Breweriesに出資し、その後TribeはMornington Peninsula Breweryを買収。
- Grage Roads Brewing CompanyがMatso's Boome Breweryを豪\$1,645で買収。

このサブセクターの分析は記録されたデータに限られ、クラフト醸造業の取引規模が比較的小さく、厳密な秘密保持条項があるためである。これらの取引は、かなりの利益を生む構成要素で行われた可能性があると理解している。Capital IQ データではとらえられないかもしれない独立したラベルによって生産されたユニークなフレーバーを求めている消費者の増加から、最近では消費者の好みと小規模なクラフトビールへの需要が高まっている。このサブセクターにおけるその他のCapital IQに計上されていない案件には、Sydneyに拠点を置くThe Australia Hotel and Breweryを、オーストラリア証券取引所上場パブ・ホテル運営会社であるThe Redcape Hotel Groupが2018年に豪\$5,000万で買収したことが含まれる。この買収は、Redcape Hotel Groupがクラフトビールと現地特産ビール市場への投資を追求したことによるものである。

醸造部門では、昨今、Founders First Limitedがオーストラリア証券取引所で新規株式公開を果たし、さらなる成長に向けたクラフト飲料事業への投資に注力している。

## 蒸留酒製造業者・ワイン醸造業者

当期のオーストラリアでは、蒸留・ワイン醸造部門が好調に推移し、2020年6月までの過去2.5年間で完了した取引は30件、過去7年間で25件となった。

このサブセクターでの活動の増加は、部分的には、オーストラリア最大のワイン輸出市場である中国からの需要に主導されたオーストラリアのワイン輸出の伸びに起因している。オーストラリアは、中国がアメリカ産ワインに課される輸入義務を急増させていることから、当期間中、米中貿易戦争の恩恵を受けている。2019年1月1日時点で、中国によるオーストラリア産ワインの輸入関税率は、中豪自由貿易協定(ChAFTA)により完全に撤廃されている。新型コロナウイルス以前は、この動きによって、中国へのワインの第1位の輸出国として、オーストラリアがフランスを抜くことが予想されていた。

オーストラリアのワイン産業の継続的な成長は、オーストラリアのアグリテック産業がイノベーションとテクノロジーへの投資増加に拍車をかけ、悪天候パターンからブドウ園を保護し、収量を最大化し、産業の将来的な存続可能性を確保することに貢献していた。

今期、このサブセクターでの最大の案件は、米国に拠点を置く投資会社Carlyle GroupがCHAMP Private EquityからAccolade Wines Australiaを豪\$10億で買収したことである。

地元のクラフトジンやウイスキーの生産者がユニークなフレーバーを求めて消費者の注目を集める中で、ジンとウイスキーの消費も国内外の両方で成長を続けている。2019年、Lionは未公表金額でFour Pillars Gin の株式50%を取得した。Healesville Victoriaに2013年に設立されたFour Pillars Gin は、現在、近隣のアジア太平洋地域に第一の焦点を当てつつ、国際的な拡大も視野に入れている。

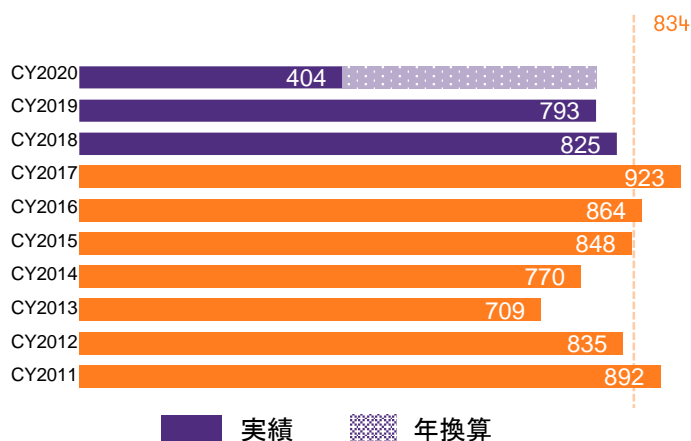


**M&A 取引**

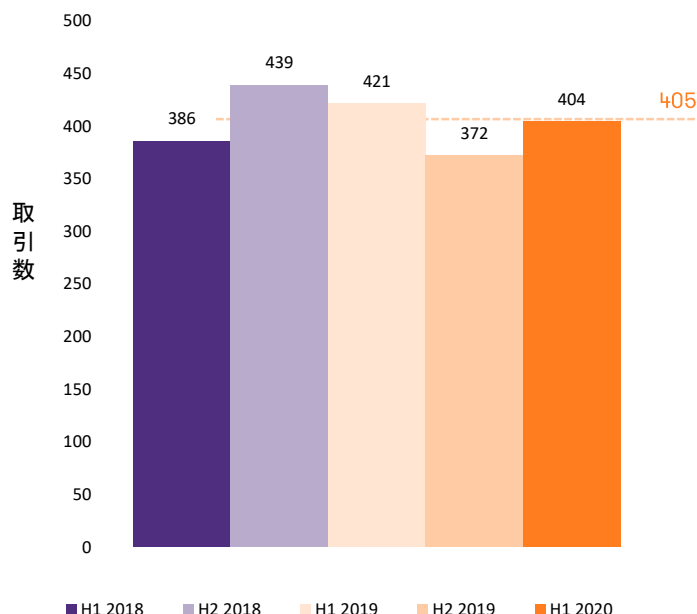
# グローバルM&A活動

2017年までの当セクターにおけるM&A案件の急増を受けて、当期を通じて報告案件数は微減傾向にある。

## グローバルM&A案件 – 暦年(CY)傾向



## グローバルM&A案件 – 半期(HY)推移



2017年のピーク時(923件)に比べ、当報告期間は2022件、年平均809件と、世界全体の年間M&A件数はやや減少傾向にある。これは、年間平均のM&A件数が過去の年平均834件から3%微減したことによる。この傾向は、本報告書時点ではCapital IQの成約組数の報告が遅れていたことも一因と考えられるが、この間の世界全体のM&A案件数の伸びが鈍化していることは明らかである。

この減速に影響を与える要因としては、米中貿易摩擦、BREXITのスケジュールと規制を取り巻く不透明感、潜在的な世界経済の減速懸念、さらに最近では世界的なパンデミックが挙げられる。これらの要因は、アグリビジネス・フード・ビバレッジセクターを含む多くのセクターにおける市場の不確実性の一因となっており、M&A案件業界は市場を注視している。

半期を比較すると、2020年のパンデミックの影響が予想されたほど大きくなかったことが明らかである。その結果、2018年と2019年の半期平均404件と405件はこのセクターの出来高は一貫しているとわかる。

楽観的な取引が2020年のデータを水増ししている可能性があり、(この傾向はまだオーストラリアに影響を与えていないが)、パンデミック前に、これらの案件プロセスの大部分が開始されたこともあり得るが、アグリビジネス・フード・ビバレッジ業界が世界的に持ちこたえてきたことは明らかである。

しかし、2020年3月から6月にかけては、経済全体の新規取引プロセスの減速が見られたことから、下半期には調整が見込まれる。

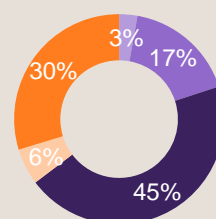
# グローバルM&A状況 (続)

## グローバルM&A案件 – 国別

国	当期	現在の期間 順位	取引割 合%	過去の期間	過去の期間 順位	取引割 合%
米国	538	1	26.6%	1,226	1	21.0%
英国	153	2	7.6%	422	3	7.2%
フランス	127	3	6.3%	432	2	7.4%
カナダ	94	4	4.6%	169	9	2.9%
オーストラリア	90	5	4.5%	214	6	3.7%
スペイン	79	6	3.9%	257	5	4.4%
オランダ	66	7	3.3%	130	12	2.2%
イタリア	65	8	3.2%	150	10	2.6%
ドイツ	62	9	3.1%	184	8	3.2%
中国	54	10	2.7%	196	7	3.4%
上位10社	<b>1,328</b>		<b>65.7%</b>	<b>3,380</b>		<b>57.9%</b>
その他の国	694		34.3%	2,461		42.1%
合計	<b>2,022</b>		<b>100.0%</b>	<b>5,841</b>		<b>100.0%</b>
年平均	809			834		

### グローバルM&A案件 – 地域別

- アフリカ・中東アジア
- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米



特に、米国、フランス、ブラジルでの当期間の**案件数の減少**が過去2年(2017年、2018年)と比較して顕著である。

**アメリカ**のM&A件数は、2017年の226件をピークに、2018年は206件、2019年は201件と減少した。米国資産をめぐるM&Aの減少は、トランプ大統領の導入した貿易政策が、中国による貿易政策に相互に打ち消されたことも一因と考えられる。

**欧州**地域は引き続き国際取引の大半を占め、欧州資産が当期のM&A件数の45%を占めている。次いで米国とカナダが30%、アジア太平洋地域が17%となっている。M&A案件数は、前述の要因が各地域に影響を与えたことから、3地域とも減少した。

**フランス**が引き続き欧州地域の主要なプレーヤーとなった一方で、フランスにおけるM&Aの出来高は、歴史的期間の平均取引件数62件から当期は51件に減少した。この傾向は、2017年の選挙後、エマニュエル・マクロン大統領が導入した主要な経済改革によってもたらされたものと思われる。フランスのGDP成長率は2017年の2.3%をピークに、2018年は1.7%、2019年は1.3%に低下した。

一方、**英国**では、2017年にみられた動きが続いており、BREXITが懸念されるものの、当期間においてもM&Aが好調に推移した。

**カナダ**は、過去の期間に9位にランクされたのに対し、当期には94件の案件が計上され、第4位にランクされるなど、上位10リストにおける位置付けが顕著に上昇した。これは、2018年10月のカナダでの大麻の合法化に伴い、大麻および麻関連資産の取引量が増加したこと、およびカナダ年金基金の投資量が増加したことによって一部支えられている。

**オーストラリア**は、当期のアジア太平洋案件の26%、全世界の案件の4%を占め、引き続き取引量でアジア太平洋地域内で最大の国となっている。次いで中国で、この地域の案件の17%、世界全体では3%を占めている。

**オランダ**は、当期の上位10リストの中で唯一新規参入者であり、ドイツと中国の両方を上回る7位を占めた。オランダは、過去数年間の買収モメンタムを維持したためである。

**中国**の案件総量は過去期と変わらなかったが、トップ10リストのランクは下がった。これは米中貿易摩擦における中国の役割に起因するセクターの不確実性による可能性がある。

# 世界上位10案件

サブセクターの観点で、当期の世界上位10案件(取引金額ベース)は、主に、**包装食品・食肉7案件**、続いて飲料2案件、醸造業1案件となっている。さらに、世界の上位10件の取引のうち7件は米国拠点の資産であった。米国に拠点を置く企業は「大型」資産の最も積極的な買収企業であり、売却した上位10社のうち6社の買収企業であった。

記録された最大の取引は、アサヒ・ホールディングス Pty Ltdが、象徴的なローカル・ビール会社CUB Pty Ltdを、14.9倍のEBITDA倍率で豪\$160億の購入価格で買収したことである。

買収はFIRBとACCCの審査を受けた。ACCCはその後、アサヒがビール・ブランド2社とサイダー・ブランド3社を売却することを条件に、買収に反対しないことで合意した。

**Conagra Brands にPinnacle Foods を豪\$147億9000万で売却したことは、Conagraが象徴的なブランドとのポートフォリオを拡大し、冷凍食品消費者のトレンドを利用するために戦略的に買収したことを意味する。冷凍食品部門における2つ目の大型買収は、親会社が韓国に拠点を置くCJ Foods America Corp.が米国のSchwan's Companyを買収したことで、世界の上位10案件にも記録された。**

ペットフーズ業界の成長は、食品メーカーGeneral Millsが投資ファンド支援を受けたBlue Buffalo Pet Productsの買収を通じてペットフード業界に参入したことによるものである。大手ペットフード事業は豪\$102億8,300万で買収され、EBITDA倍率は25.64倍と大幅なものであった。

トップ10に入らないが、ペットフード業界でのもう一つの大規模な買収は、ニューヨーク証券取引所上場企業J.M.Sucker Companyの子会社NU Pet CompanyがAinsworth Pet Nutrition (高級ペットフードの大手製造・生産・販売会社)を、豪\$24億6,700万で買収した案件である。この買収は、既存のペットフードのポートフォリオに、Ainsworthの高業績ブランドを加えることを狙ったものだった。これは、ペット産業が拡大していることに続くものである。というのも、ミレニアル世代はペットにもっと多くを費やす意欲が高まっているばかりでなく、プレミアム・ブランドの製品やサービスにも支出が増えているからである。

また、米国のグローバル投資会社KKR & Co.が、Arnottの象徴的なBiscuits Holdingsを買収したことも注目される。また、KKRが買収金額を豪\$32億3600万とする買収手続きを完了する前に、Pacific Equity PartnersがArnottの買収を考えていたことも注目すべき点である。

これらの大型案件は、公開された7件のバリュエーションのうち5件が10倍以上を記録し、2件(Snyer's-Lance Inc とBlue Buffalo Pet Products Inc)は20倍以上を記録した。

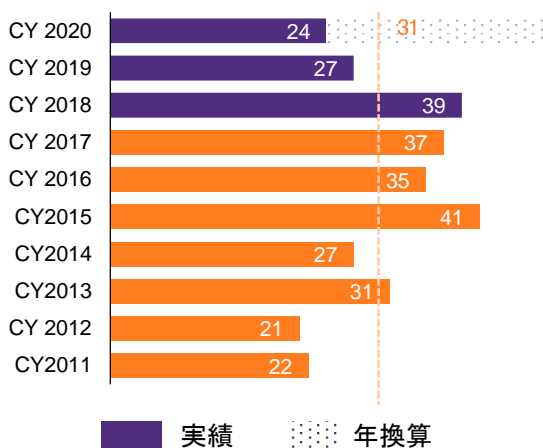
 1	<b>対象企業:</b> CUB Pty Ltd <b>対象産業:</b> 醸造 <b>対象国:</b> オーストラリア <b>買収社:</b> Asahi Holdings (Australia) Pty Ltd <b>買収国:</b> オーストラリア <b>取引額:</b> 豪\$160億 <b>終了日:</b> 2020年1月6日 <b>EV/EBITDA:</b> 14.88倍	 6 	<b>対象企業:</b> Rockstar, Inc. <b>対象産業:</b> 清涼飲料 <b>対象国:</b> 米国 <b>買収社:</b> PepsiCo, Inc. <b>買収国:</b> 米国 <b>取引額:</b> 豪\$72億1100万 <b>終了日:</b> 2020年4月24日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開
 2 	<b>対象企業:</b> Pinnacle Foods Inc. <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>対象国:</b> 米国 <b>買収社:</b> Conagra Brands Inc (NYSE:CAG) <b>買収国:</b> 米国 <b>取引額:</b> 豪\$147億9100万 <b>終了日:</b> 2018年10月26日 <b>EV/EBITDA:</b> 16.53倍	 7	<b>対象企業:</b> U.S Ice Cream Business of Nestle <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>対象国:</b> 米国 <b>買収社:</b> Froneri International Limited <b>買収国:</b> UK <b>取引額:</b> 豪\$58億2600万 <b>終了日:</b> 2020年1月31日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開
 3 	<b>対象企業:</b> Henan Luohe Shuanghui Industry Group Limited Liability Company <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>対象国:</b> 中国 <b>買収社:</b> Henan Shuanghui Investment & Development Co.,Ltd. (SZSE:000895) <b>買収国:</b> 中国 <b>取引額:</b> 117億700万豪ドル <b>終了日:</b> 2019年9月12日 <b>EV/EBITDA:</b> 7.96倍	 8  	<b>対象企業:</b> Refresco Group N.V. (nka:Refresco Group B.V.) <b>対象産業:</b> 清涼飲料 <b>対象国:</b> オランダ <b>買収社:</b> PAI Partners <b>買収国:</b> フランス <b>取引額:</b> 豪\$34億1500万 <b>終了日:</b> 2018年4月30日 <b>EV/EBITDA:</b> 10.98倍
 4 	<b>対象企業:</b> Blue Buffalo Pet Products, Inc. <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>対象国:</b> 米国 <b>買収社:</b> General Mills, Inc. (NYSE:GIS) <b>買収国:</b> 米国 <b>取引額:</b> 豪\$102億8300万 <b>終了日:</b> 2018年4月24日 <b>EV/EBITDA:</b> 25.64倍	 9	<b>対象企業:</b> Arnott's Biscuits Holdings, Campbell Hong Kong and Related Business of Campbell Soup Company <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>対象国:</b> 米国 <b>買収社:</b> KKR & Co. Inc. (NYSE:KKR) <b>買収国:</b> 米国 <b>取引額:</b> 豪\$32億3700万 <b>終了日:</b> 2019年12月23日 <b>EV/EBITDA:</b> 6.5倍
 5	<b>対象企業:</b> Snyder's-Lance, Inc. <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>対象国:</b> 米国 <b>買収社:</b> Campbell Soup Company (NYSE:CPB) <b>買収国:</b> 米国 <b>取引額:</b> 豪\$79億7000万 <b>終了日:</b> 2018年3月26日 <b>EV/EBITDA:</b> 21.71倍	 10	<b>対象企業:</b> Schwan's Company <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>対象国:</b> 米国 <b>買収社:</b> CJ Foods America Corp. <b>買収国:</b> 米国 <b>取引額:</b> 豪\$30億4000万 <b>終了日:</b> 2019年2月25日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開





# オーストラリア案件

## オーストラリアにおけるM&A案件数



アグリビジネス・フード・ビバレッジセクターにおける世界的なM&A案件において、オーストラリアは引き続き有力なプレイヤーであり続けている。オーストラリアは、当期、2017年までの7年間で6位を上回り、世界第5位となった。

アジア太平洋地域では、オーストラリアが引き続き際立っており、当期のこの地域における取引量の最大の割合(26%)を占めている。当期は中国が16%で2位、日本が11%、インドとニュージーランドが8%と、前期の業績と同様となった。

2011年から2017年までの31件の過去の平均年間取引件数と比較して、オーストラリアは、2018年に39件を記録し、過去平均を上回る大量の案件数を記録した。2019年に計上されたオーストラリア資産の成約組数は合計27件、2020年6月までの6ヶ月間で24件となった。

当期計上された90案件のうち、取引額を開示しているのは、計上された案件の半分に過ぎない。それにもかかわらず、公開された取引額が1億豪ドルまでの中小規模の事業者が、依然として主な買収ターゲットであり、オーストラリアで取引額が公開された案件の74%を占めた。

これは過去の期間の75%と比較すると興味深い。当期の減少は、開示された案件については、取引規模が増加したことによるものと考えられる。豪\$1億以上の案件の割合は、過去の期間の25%に対し、当期の開示案件の26%に相当する。当期のオーストラリア資産の案件規模の拡大は、プラットフォーム資産の獲得、プレミアム・オーストラリアブランドの活用、隣接するアジア太平洋地域やその他の地域への国際展開をグローバルに追求しようとする海外の買収企業に起因すると考えらる。

当期に記録された取引額が10億豪ドルを超える「メガ・ディール」は4件だった。

- 豪\$160億: AsahiによるCUBの買収
- 豪\$10億: Carlyle Group(投資ファンド)によるAccolade Winesの買収
- 豪\$17億: Saputo DairyによるMurray Goulburnの買収
- 豪\$13億: 中国MengmiuによるBellamyの買収

これに対し、2017年までの7年間に、英国を拠点とするSABMillerがFosters Groupを2011年に豪\$123億で買収した4件のオーストラリア資産(豪\$10億以上)が計上された。

取引値範囲	当期	過去	当期%	過去%
-------	----	----	-----	-----

### 中小規模企業取引(豪\$1億未満)

豪\$2,000万未満	21	47	46%	43%
豪\$2000万~5000万	7	19	15%	17%
豪\$5,000万~1億	6	16	13%	15%
<b>中小規模企業取引合計</b>	<b>34</b>	<b>82</b>	<b>74%</b>	<b>75%</b>

### 中・大型案件(豪\$1億超)

豪\$1億~2億	2	9	4%	8%
豪\$2億~5億	4	11	9%	10%
豪\$5億~10億	2	3	4%	3%
豪\$10億以上	4	4	9%	4%
<b>中・大型案件合計</b>	<b>12</b>	<b>27</b>	<b>26%</b>	<b>25%</b>

<b>公開取引総額</b>	<b>46</b>	<b>109</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>
未公開	44	105		

# オーストラリアの上位10案件

オーストラリアにおける上位10件は、包装食品・食肉業界における象徴的なブランド資産の買収によるものであった。

外資買収企業からのオーストラリアの大資産に対する需要は依然として強く、オーストラリアの上位10案件のうち5案件に外資買収企業が関与している。これに対し、オーストラリアの総案件のうち、インバウンド・エクイティで購入された案件はわずか23%にとどまっている。

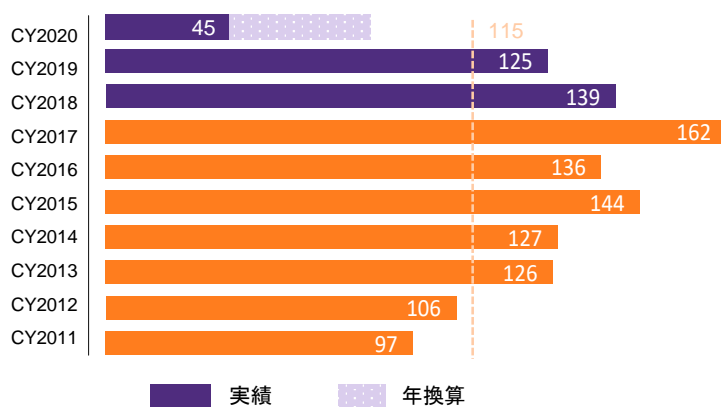
1	<p><b>対象企業:</b> CUB Pty Ltd <b>対象産業:</b> 醸造所 <b>対象国:</b> 豪州 <b>取得者:</b> Asahi Holdings (Australia) Pty Ltd <b>取得者国:</b> オーストラリア <b>取引価値:</b> 豪\$160億 <b>取引終了日:</b> 2020年1月6日 <b>EV/EBITDA:</b> 14.88倍</p>	<p><b>Asahi acquires CUB Pty Ltd:</b> 象徴的な地元のビール会社Carlton and United Breweriesが160億豪ドルの購入価格でAsahi Group Holdingsに売却され、EBITDA倍数は14.9倍。</p> <p>買収はFIRBおよびACCCの審査対象となり、その後、ACCCは、Asahiが2つのビールブランドと3つのサイダーブランドを売却したことを条件に、この取引に反対しないに同意。</p>	<p><b>対象企業:</b> Webster Limited <b>対象産業:</b> 農産物 <b>対象国:</b> オーストラリア <b>取得者:</b> Public Sector Pension Investment Board <b>取得者国:</b> カナダ <b>取引価値:</b> 豪\$7億1600万 <b>取引終了日:</b> 2020年3月18日 <b>EV/EBITDA:</b> 104.27倍</p> <p>104.27倍のEV / EBITDA倍数は、Websterが貴重な土地と水利権を大幅に保有していることによる影響を受けている。</p>
2	<p><b>対象企業:</b> Murray Goulburn Co-Operative Limited <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>取得者:</b> Saputo Dairy Australia Pty Ltd <b>取得者国:</b> オーストラリア <b>取引価値:</b> 豪\$17億8300万 <b>取引終了日:</b> 2018年4月30日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開</p>	<p><b>SaputoのMurray Goulburn Co-op買収:</b> オーストラリア最大の牛乳加工業者であるMurray Goulburn Co Opは、豪\$17億9,300万の購入価格でSaputoに買収された。</p> <p>Saputo Dairy Australiaのカナダの親会社であるSaputo Incは、世界最大の乳製品加工業者の1つであり、Warrnambool Cheese and Butterの所有者。買収はFIRBおよびACCCの審査対象となり、Bega Cheeseが買収したMurray GoulburnのKoroit工場の売却も含め、ACCCはSaputoからの法廷で強制力のある事業を義務付けた。</p>	<p><b>対象企業:</b> Goodman Fielder Pty Ltd <b>対象産業:</b> 包装食品 <b>取得者:</b> Wilmar International Limited (SGX:F34) <b>取得者国:</b> シンガポール <b>取引価値:</b> 豪\$4億6100万 <b>取引終了日:</b> 2019年12月16日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開</p> <p>合併会社撤退: Goodman Fielderは、オーストラリア、ニュージーランド、アジア太平洋地域の大手地域食品会社であり、Helga'sやWonder Whiteのパンなど、さまざまな食品を製造、包装、流通、販売している。</p> <p>同社は以前、Wilmar Internationalと香港のFirst Pacific Company Limited (SEHK: 142)の合併事業の下で、EBITDAの9.1倍の倍数の大多数の株式で豪\$17億で買収。</p> <p>First Pacific はその後、2019年にWilmar Internationalにその50%の株式を4億6100万豪ドルで非公開の倍数以売却。</p>
3	<p><b>対象企業:</b> Bellamy's Australia Limited (ASX: BAL) <b>対象産業:</b> 包装食品・食肉 <b>取得者:</b> China Mengniu Dairy Company Limited <b>取得者国:</b> 香港 <b>取引価値:</b> 豪\$13億1300万 <b>取引終了日:</b> 2018年12月23日 <b>EV/EBITDA:</b> 39.93倍</p>	<p><b>中国 Mengniu のBellamy's買収:</b> 中国の乳製品大手は、Bellamy'sの残りの97.1%の株式を、豪\$13億1300万の購入価格、39.93倍のEBITDA倍数で取得。Bellamy'sは、オーストラリア製のオーガニックベビーフード製品のオーストラリア有数の生産販売業者。</p> <p>買収は、FIRBおよびACCCの審査対象で、オーストラリア本社を最低10年間維持すること、ビクトリア州の乳幼児用粉乳加工施設の設立または改良に最低豪\$1,200万を支出することを義務づけることなど、多くの条件を引き受けることを条件とした。</p>	<p><b>対象企業:</b> ProTen Limited <b>対象産業:</b> 包装食品 <b>取得者:</b> FSS Agriculture 2 Pty Ltd <b>取得者国:</b> オーストラリア <b>取引価値:</b> 豪\$3億3400万 <b>取引終了日:</b> 2018年11月26日 <b>EV/EBITDA:</b> 13.66倍</p> <p>スーパーアニュエーション企業のPro Ten買収: Pro Ten Limitedは、オーストラリア最大の独立した養鶏業者であり、オーストラリア全土でプロイラー農場の開発、運営を行っている。</p> <p>同社は、First State Superが所有し、ROC Partnersが管理するFSS Agricultureに豪\$3億3400万で買収された。</p>
4	<p><b>対象企業:</b> Accolade Wines Australia Limited <b>対象産業:</b> 蒸留酒製造・ワイン醸造業 <b>取得者:</b> The Carlyle Group Inc. (NASDAQGS: CG) <b>取得者国:</b> 米国 <b>取引価値:</b> 豪\$10億 <b>取引終了日:</b> 2018年6月1日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開</p>	<p><b>プライベートエクイティ参入と撤退:</b> オーストラリアを拠点とするAccolade Winesは、評判の良い一流ブランドのポートフォリオを構成する世界最大のワイン会社の1つ。Accolade Winesは、2011年にCHAMP Private Equityが買収した後、豪\$2億9000万でConstellationから2つの別々の部門となった。</p> <p>Accolade Winesは、米国を拠点とするグローバル投資マネージャーであるThe Carlyle Groupに豪\$10億で買収された。これは、USIMがアジア市場での成長機会を通じてAccoladeの評判の良いブランドを活用しようとしているためであった。</p>	<p><b>対象企業:</b> J&amp;F Australia Pty Ltd <b>対象産業:</b> 包装食品 <b>取得者:</b> Rural Funds Management Limited <b>取得者国:</b> オーストラリア <b>取引価値:</b> 豪\$2億4000万 <b>取引終了日:</b> 2018年8月23日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開</p> <p>Rural Funds がJ&amp;A Australiaを買収: Rural Funds Management Limitedは、J&amp;A Oklahoma HoldingsからJ&amp;A Australia Pty Ltdを2億4000万豪ドルで買収する契約を締結。関連とする取引で、Rural Funds Group (ASX: RFF) は、5つのオーストラリアの飼育場と関連する耕作地をJBS Australia Pty Limitedから豪\$5,280万で取得する契約を締結。</p> <p>J&amp;F Australia Pty Ltdは、Rural Funds Management Limitedの子会社として運営している。</p>
5	<p><b>対象企業:</b> Allied Pinnacle Pty Limited <b>対象産業:</b> 包装食品 <b>取得者:</b> Nisshin Seifun Group Inc. <b>取得者国:</b> 日本 <b>取引価値:</b> 豪\$9億5000万 <b>取引終了日:</b> 2019年12月16日 <b>EV/EBITDA:</b> 未公開</p>	<p><b>プライベートエクイティ撤退成功:</b> Pacific Equity Partners (PEP)は、2017年に最初にAllied Millsを豪\$2億6000万で買収。この事業は、後にPEPのPinnacle Bakery Businessに統合され、オーストラリア最大のペーカリー製品のエンドツーエンドの製造販売業者を設立。</p> <p>日本の日清製粉によるこの買収は、国際的な拡大を追求する戦略的な動きである。</p>	<p><b>対象企業:</b> Capilano Honey Limited <b>対象産業:</b> 包装食品 <b>取得者:</b> ROC Capital &amp; Wattle Hill Private Equity <b>取得者国:</b> オーストラリア <b>取引価値:</b> 豪\$2億1000万 <b>取引終了日:</b> 2018年12月5日 <b>EV/EBITDA:</b> 12.99倍</p> <p>プライベートエクイティがIconic Honey producerを買収: Capilanoは1953年にティムとパートのスミス兄弟によって始められた。現在、同社はオーストラリア最大の蜂蜜生産者であり、オーストラリアの象徴的なブランドである。</p> <p>ROC Capital Pty LtdとWattle Hill Capital (中国に焦点を当てた農業輸出を専門とする)のコンソーシアムは、Wroxby Pty Ltd (億万長者のAndrew ForestとKerry Stokesが運営) およびBega Cheese Limitedを含むその他から会社を買収するための実施計画を締結。戦略的買収により、オーストラリアの家庭用ブランドの拡大が中国に広がる。</p> <p>Capitanoは2012年にASXに最初に上場し、2018年12月に上場廃止になった。</p>

# 投資家・買収企業の 統計



# グローバル投資ファンド案件

## 投資ファンドによる案件数：年間別

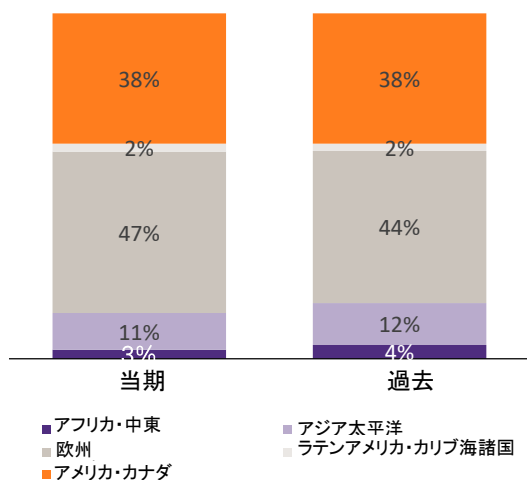


投資ファンド案件は、投資収益目的の買手と売手によって行われる取引を表し、通常、プライベート・エクイティ（PE）、ベンチャー・キャピタル（VC）、ファミリー・オフィス、農業投資家、ヘッジ・ファンドで構成される。

当期のグローバル投資ファンド案件数は、2.5年間で310件、年平均124件となり、過去115件の年平均を大きく上回った。これは、195件の買収と153件の売却で構成され、そのうち38件が買手と売手の双方が投資ファンドであった。

欧州は、投資ファンド取引案件が依然として最も活発な地域であり、当期の全世界投資ファンド案件のほぼ半分（165案件）を占めている。これは、90件の買収と75件の売却に代表され、そのうち20件が買手と売手の双方が投資ファンドであった。

## 投資ファンドによる案件数：地域別



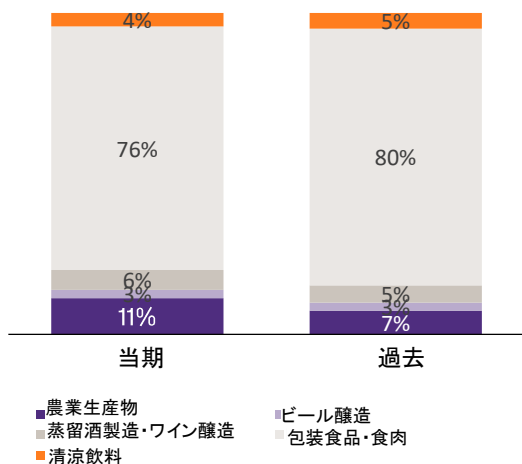
米国とカナダ地域では、投資ファンド取引案件は38%（117件）を占め、次いでアジア太平洋地域では11%、33件となっている。

投資ファンド案件は、包装食品・食肉サブセクターに引き続き集中しており、当期の世界の投資ファンド案件の76%を占めている。投資ファンドは通常、3～5年の中期的に確固たる成長軌道に乗る投資機会を探し求め、その時点で投資から撤退することを目的としている。そのため、投資ファンドは高級ブランドや流通経路を新しい市場で活用しようとしており、この分野での機会は引き続き注目されている。

アグリビジネス分野における投資ファンド案件の取引高の増加が当期に見られ、多くのファンドがこのセクターへの投資をより長期的な視点でとらえている。

投資ファンド取引によって達成された倍数の開示は限られており、その結果、当期間に計上された310件の投資ファンド成約件数では、わずか22件の取引倍率しか開示されなかった。これは、投資ファンドが一般的に行っている慣行である。

## 投資ファンド案件数：分野別



# オーストラリアの投資ファンド案件



多くの投資ファンドは、プレミアムブランドや、アジア太平洋を中心とした国際市場への進出機会を活用しようとしているため、引き続き中規模のオーストラリア事業をターゲットにしている。

オーストラリアは、アジア太平洋地域の投資ファンド活動をリードし続けており、この地域のIM案件の33%を占めている。

オーストラリアの資産に起因する19件のうち14件は投資ファンドによる買収で、5件は投資ファンドによる売却に代表された。そのうち1件は投資ファンドの売手と買手によるものであった。

当期は、案件倍数の開示も限られており、オーストラリアの投資ファンドによる取引19件のうち、1件だけが倍数を開示している。このため、前述したバリュエーション倍数と投資ファンドによる案件倍数を比較することが制限される。

それにもかかわらず、投資ファンドが当期のオーストラリア資産の買収を後押ししたのは、オーストラリアのブランド商品とプレミアム商品、特にアジア太平洋市場への投資ファンドの国際展開戦略だった。これは、日本の日清製粉がAllied Pinnacleを買収したこと、The Carlyle GroupsがAccolade Winesを買収したこと、ROC CapitalとWattle Hill CapitalがCapilano Honeyを買収したことに代表される。

その他の注目すべきオーストラリアにおける投資ファンド案件としては、以下が挙げられる：

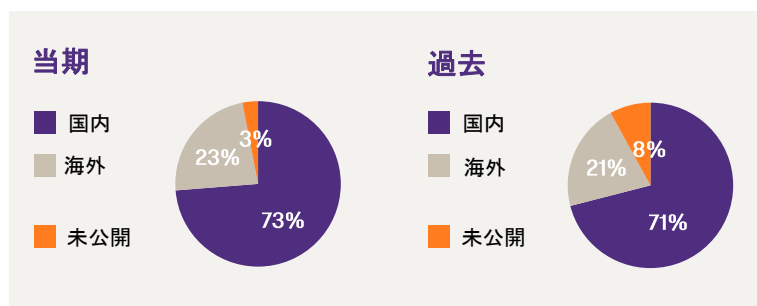
- Odysseyが健康で便利な食事を求める消費者の需要を捉え、Sushi Sushi Groupの過半数株式をOdyssey Private Equityを通じて豪\$6000万で買収
- Odyssey Private EquityによるDelta Agribusiness への少数出資と、その後のDelta Agribusiness によるNorth West Ag ServicesとAGRIvisionのコンサルタント(NWA-AVC)の買収
- 2018年3月にTribe Breweriesに投資したAdvent Partnersが、その後TribeのMornington Peninsula Breweryを買収
- Growth FundIによるM&J Chickensの未公開金額でのSourisファミリーからの買収
- 馬用飼料生産者Hygain Holdingsのボルトオン買収として、Inghams GroupがMitavite馬用飼料事業をAdamantem Capitalへ豪\$ 6000万で売却

当期は投資ファンドによる買収が減少したように見えるが、公表されていない数多くの投資が行われたことを認識している。したがって、このセクターにおける投資ファンドの実際の取引量は、Capital IQのデータベースに代表されるものよりも高くなる可能性が高い。新鮮な生産物や高級ブランド製品に対する世界中での継続的な需要は、国境を越えた投資ファンドの継続的な関心を生み出している。

# オーストラリア資産の買収者

## 当期:国内買収企業と海外買収者

案件数:買収者別(当期)					
買主地域	案件数	案件%	取引金額の公表件数	平均取引価値(豪\$百万)	取引価値の範囲(豪\$百万)
アフリカ・中東	-	0%	-	N/A	N/A
アジア太平洋	9	10%	(19)	561	4 - 1,313
欧州	5	6%	25	24	24
ラテンアメリカとカリブ海諸国	-	0%	-	N/A	N/A
米国・カナダ	7	8%	-	388	19 - 1,000
<b>計(オーストラリア除く)</b>	<b>21</b>	<b>23%</b>	<b>6</b>	<b>324</b>	
オーストラリア	66	73%	19	578	1 - 16,000
未公開	3	3%	(21)	N/A	N/A
<b>案件総数</b>	<b>90</b>	<b>100%</b>	<b>4</b>	<b>292</b>	



### 国内買収者

オーストラリア資産を購入する買手の大半は、歴史的に国内買収者が占めてきた。この傾向は当期も続いており、国内案件がオーストラリア案件の73%(66件)を占めている。CUB Pty Ltd、Lion Pty Ltd、Bega Cheese Ltdなどが国内事業を買収したことが寄与している。

さらに、Buderra Cattle CoによるMurrarji 牛舎の買収、Primewest Group LimitedによるPingetta Farmの買収、Cleveland AgricultureによるUcharonidge 牛舎の買収するなど、国内買収者によって買収された大規模な一次生産事業がこれらの数字に貢献している。

### 海外買収者

海外からのオーストラリア資産への関心は、当期も継続しており、これは90件の取引のうち21件に表れている(公開買手情報を含む)。当期にアジア太平洋地域の近隣諸国で行われた買収は、包装食品・食肉サブセクターが中心であった。

この傾向は、オーガニックベビーフード製品の生産・流通のトップ企業であるBellamyの買収、主要なベーカリー原材料サプライヤーであるAllied Pinnacleの買収など、当期に際立った取引によって裏付けられている。

当期は米国地域から7件の買収が行われた。買手は大手投資ファンドと大手ブランド企業で構成されていた。詳細は前述の通り、米国を拠点とするグローバル投資会社The Carlyle GroupがAccolade Winesを豪\$10億で買収、米国の上場企業Lamb WestonがMarvel PackersとReady Mealsを買収したことが含まれている。また、オーストラリアのKombucha飲料メーカーであるOrganic & Raw Trading Coが世界的飲料大手のコカ・コーラ社に買収された。この買収により、コカ・コーラはKombuchaの第一商品ラインを導入することになった。この取引条件は開示されていない。

さらに、ヨーロッパの投資会社True CapitalはSoulfresh Groupに豪\$900万を投資した。Soulfresh Groupは、食品・飲料部門であり、発酵飲料や植物由来の飲食物など、健康と持続可能性に焦点を当てた様々な製品を提供している。

当期に計上された90件のオーストラリア案件のうち、取引金額を開示しているのは海外インバウンド案件が8件、国内案件が33件にとどまっているため、意味のなす分析範囲が限定されている。当期の海外インバウンド平均取引額は、8件の開示値で合計豪\$5億9,800万に達した。Accolade Wines(豪\$10億)、Bellamy's(豪\$13億)、Allied Pinnacle(豪\$9億5000万の買収を含む3件の大型案件が平均値を高くした。

同時期の国内買収については、平均取引金額(公開された33件)は豪\$1億8710万(CUBによる豪\$160億の買収を除く)。しかし、Saputo Dairy オーストラリア社(カナダのSaputo Inc.が親会社)が2018年にMurray Goulburn社を豪\$18億で買収した結果、この平均は上限に偏っていることに留意する必要がある。



## 案件取引と倍数

# 評価倍数

## 規模別

アグリビジネス・フード・ビバレッジ業界の事業は、金利、税金、減価償却前利益(EBITDA)の倍数に基づいて評価されることが多い。事業を評価する際、EBITDAは、資金調達方法を考慮する前に、事業の財務業績を反映するため、通常、持続可能利益の測定基準として使用される。EBITDAに市場倍数を適用された価値は、余剰現金または純負債を会計処理する前の事業の価値であるエンタープライズ・バリュー(EV)である。

当期間に同セクターで世界中に記録された2,022件のM&A案件のうち、分析用のEBITDA倍数を開示している案件は73件(3.6%)にとどまっている。また、当期の開示取引のうち、54件は包装食品・食肉サブセクターの取引に係るものである。開示されているディール倍数の取引量が限られているため、分析の範囲には限りがある。さらに、Capital IQデータベースには、当期間に完了した小規模案件が除外されている可能性が高いことを強調しておきたい。そのため、アグリビジネス・フード・ビバレッジ業界の実際の取引量ははるかに大きい可能性がある。

それにもかかわらず、取引倍数の中央値は、過去平均の10.1倍から11.3倍となった。さらに、あらゆる規模の事業への強い戦略的関心により、すべての売上高範囲において一貫した増加が見られる。この傾向は、包装食品・食肉サブセクターの業績拡大に表れている。

この成長に寄与し続けている主な要因は、ターゲットのブランド力と成長見通し、および新たな地理的市場へのアクセスである。

前回のディールトラッカー第2版で記したように、大規模事業は小規模事業に比べて安定性が高く、収益に一貫性があるため、通常、大規模事業は小規模事業よりも取引評価倍数が高い。しかし、アグリビジネス・フード・ビバレッジ業界では、特にこだわり食品について中小企業の強化が続いており、その結果、過去と比べても中小企業の倍数が高まっている。

100倍を超えるEBITDA倍数が、多くの場合、貴重な土地や水利権の保有によって影響を受けることは注目に値する。

また、大手証券取引所に上場し、プラスのEBITDAを報告した上場企業は804社あった。これは、前回のディールトラッカーで確認された778から増加している。

その興味深い(かつ珍しい)ことは、現在の取引倍数が、現在から2020年6月30日までの株式市場の軟化後の取引倍数よりも高いことである。現在の新型コロナウイルスによる世界経済への影響により、2017年12月31日に観測されたピーク以降に達成された取引倍数の中央値の低下が見られた。

### 取引倍数:売上高別

当期					過去					
収益の範囲	案件数	倍数が開示された案件	売上高範囲案件構成%	EBITDA中央値倍数	範囲	案件数	倍数が開示された案件	売上高範囲案件構成%	EBITDA中央値倍数	範囲
豪\$2,000万未満	130	5	6%	11.4x	3.0x - 38.1x	524	24	9%	8.0x	0.3x - 128.8x
豪\$2000万~\$5000万	75	8	4%	11.7x	0.0x - 18.2x	310	24	5%	8.7x	2.7x - 104.8x
豪\$5000万~2億	113	17	6%	10.9x	6.9x - 104.3x	462	73	8%	9.5x	0.02x - 99x
豪\$2億~5億	43	20	2%	11.5x	0.0x - 142.0x	169	52	3%	10.1x	0.1x - 66.4x
豪\$5億以上	44	18	2%	14.0x	4.4x - 26.9x	145	74	2%	11.1x	2x - 33.3x
未公開	1,617	5	80%	N/A	N/A	4,231	12	72%	N/A	
中央値(全体)				11.3x					10.1x	
合計	2,022	73	100%			5,841	259	100%		

### 取引倍数(上場企業):売上高別

収益の範囲	会社数	2020年6月期売上高中央値(豪\$百万)	2020年6月30日	EV/EBITDA倍数の中央値				
				2019年12月31日	2018年12月31日	2017年12月31日	2016年12月31日	
豪\$2,000万未満	79	5	10.6x	12.1x	13.0x	18.4x	18.0x	
豪\$2000万~5000万	50	35	7.6x	9.8x	11.5x	12.5x	13.1x	
豪\$5000万~2億	139	113	10.3x	11.6x	12.5x	13.9x	11.9x	
豪\$2億~5億	145	327	13.8x	15.1x	12.5x	15.7x	13.0x	
豪\$5億以上	378	2,049	10.8x	11.9x	11.2x	12.8x	11.6x	
未公開	13							
中央値(全体)		440	10.08x	12.0x	11.8x	13.5x	12.1x	
合計	804							



# 評価倍数

## サブセクター別

成約数2,022件のうち、公表件数は73件で、過去の10.1倍に対し、当期の中央値は11.3倍に増加した。これは主に、包装食品・食肉類のサブセクターが引き続き成長したことによるもので、中央値は過去の期間の10.0倍から当期は11.4倍に上昇した。このサブセクターにおける取引倍数の中央値の顕著な伸びは、強力なブランドの獲得、国際的な市場拡大の見通し、成長する消費者食品のトレンドを利用しようとする努力による強い成長選好を反映している。

農産物・清涼飲料のサブセクターにおける取引倍数の中央値の伸びも見られた。しかし、農産物取引297件のうち8件、清涼飲料サブセクターの取引108件のうち5件しか取引倍数を開示していないことは重要なポイントである。

同様に、醸造所サブセクターの成約数91件のうち、取引倍数を開示しているのはわずか4件で、把握している範囲内の取引倍数の中央値は顕著に低下した。

参加者は取引倍数の開示により敏感であり、しばしばアーンアウト等の条件付き取得対価はある程度機密条項に結びついているため、取引倍数の開示が限られていることは、ビール製造業のサブセクターにおいては驚くべきことではない。

これらのセクター全体では取引数が限られているため、パフォーマンスについては限られた分析しか行われていない。蒸留酒製造業者とワイン醸造業者サブセクターにおける61.10倍の単一の報告された倍数は、プレミアムアルコールブランドの開発・販売者である米国飲料会社、Castle Brandsの買収に関するものである。この事業は、フランスを拠点とする飲料会社Pernod Ricard (Chivas RegalとAbsolut Vodkaを所有)の子会社が4億1000万豪ドルで買収した。これは、人気のあるJeffersonのバーボンウイスキーブランドをポートフォリオに加えることを追求したためである。

パンデミックに伴う不確実性のある世界的および最近の株式市場の軟化後の過年度と比較すると、取引倍数は大半のサブセクターで全体的に低下した。

### 取引倍数:サブセクター別

サブセクター	今期				過去					
	案件数	開示されている取引倍数	サブセクターの案件構成%	中央値 EBITDA倍数	範囲	案件数	開示されている取引倍数	サブセクターの案件構成%	中央値 EBITDA倍数	範囲
包装食品・食肉	1,343	55	66%	11.4x	0.0x - 142.0x	3,964	185	68%	10.0x	0.02x - 128.8x
農産物	297	8	15%	11.6x	3.5x - 11.6x	767	30	13%	9.6x	0.30x - 88.1x
清涼飲料	108	5	5%	11.0x	8.0x - 11.0x	277	20	5%	8.5x	0.9x - 27.1x
酒類製造業	91	4	5%	10.9x	6.9x - 10.9x	234	15	4%	12.4x	5.6x - 33.3x
蒸留酒製造・ワイン醸造業者	183	1	9%	61.1x	61.1x	599	9	10%	14.5x	8.7x - 21.1x
<b>中央値 (全体)</b>				<b>11.3x</b>					<b>10x</b>	
<b>合計</b>	<b>2,022</b>	<b>73</b>	<b>100%</b>			<b>5,841</b>	<b>259</b>	<b>100%</b>		

### 取引倍数:サブ・セクター別

サブセクター	会社数	売上中央値 2020年6月30日 (豪\$百万)	2020年6月30日	中央値 EBITDA倍数			
				2019年12月31日	2018年12月31日	2017年12月31日	2016年12月31日
包装食品・食肉	571	466	10.1x	11.2x	11.2x	12.5x	11.3x
農産物	108	215	12.6x	13.0x	13.5x	16.5x	13.5x
蒸留酒製造・ワイン醸造業者	68	2,756	11.1x	11.3x	12.8x	13.1x	11.7x
酒類製造業	30	1,543	13.4x	14.1x	12.3x	15.3x	13.5x
清涼飲料	27	378	19.5x	17.2x	14.0x	19.6x	16.7x
<b>中央値 (全体)</b>		<b>440</b>	<b>10.08x</b>	<b>12.0x</b>	<b>11.8x</b>	<b>13.5x</b>	<b>12.1x</b>
<b>合計</b>	<b>804</b>						

# 評価倍数

## 地域別

アジア・パシフィック地域の黒字上場企業は、この分野の全世界の上場企業804社のうち78%を占め、この地域の数量はインド、中国、日本が主導している。このうち22社がオーストラリア証券取引所に上場しており、2020年6月30日現在の取引倍率の中央値は12.9倍で、世界全体の中央値取引倍率12.0倍、アジア太平洋地域を上回っている。

2020年には、2020年6月30日の時点で、全地域で年間取引倍率の中央値は減少し、全体の中央値は2019年12月31日の12.0倍から2020年6月30日には10.8倍に減少したが、それでも過去の平均値(10.1倍)より高い水準で取引されている。

### 取引倍数: 地域別

当期					過去の期間					
地域	案件数	売上高範囲案件の構成%	公開された取引倍率	中央値 EBITDA 倍率	範囲	案件数	売上高範囲案件の構成%	公開された取引倍率	中央値 EBITDA 倍率	範囲
アジア太平洋	347	17%	23	11.5x	3.0x - 104.3x	1,139	20%	76	9.6x	0.02x - 128.8x
ヨーロッパ	878	43%	23	11.0x	4.9x - 38.1x	2,672	46%	86	9.2x	0.1x - 106.7x
北米	632	31%	19	15.6x	4.4x - 61.1x	1,395	24%	68	11.3x	4.1x - 82.9x
ラテンアメリカ・カリブ海諸国	111	5%	4	10.9x	7.1x - 24.6x	380	7%	16	10.4x	0.3x - 31x
アフリカ・中東	54	3%	4	8.7x	0.0x - 141.2x	255	4%	13	8.1x	2.7x - 99x
<b>中央値 (全体)</b>				<b>11.3x</b>					<b>10.1x</b>	
<b>合計</b>	<b>2,022</b>	<b>100%</b>	<b>73</b>			<b>5,841</b>	<b>100%</b>	<b>259</b>		

### 取引倍数: 地域別

地域	会社数	売上中央値 6月30日	2020年 6月30日	2019年 12月31日	2018年 12月31日	2017年 12月31日	2016年 12月31日
アジア太平洋	627	340	10.8x	11.5x	11.8x	13.9x	12.2x
ヨーロッパ	90	905	10.7x	12.1x	11.4x	12.6x	10.2x
北米	72	2,829	13.1x	16.1x	13.4x	13.9x	13.8x
ラテンアメリカ・カリブ海諸国	14	1,924	7.5x	7.6x	7.8x	8.4x	9.3x
アフリカ・中東	1	264	22.0x	24.2x	5.0x	4.6x	5.1x
<b>中央値 (全体)</b>		<b>440</b>	<b>10.8x</b>	<b>12.0x</b>	<b>11.8x</b>	<b>13.5x</b>	<b>12.1x</b>
<b>合計</b>	<b>804</b>						



IPO（新規株式公開）

# IPO活動

アジア太平洋地域は、IPO活動に関して世界で最も好調な地域であり、このセクターにおける世界のIPO54件のうち48件を達成した。

## グローバルIPO活動

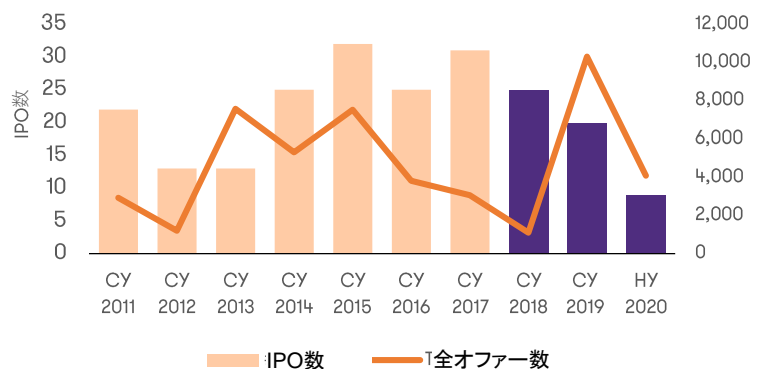
当期間中、このセクターでは世界中で合計54件の新規株式公開(IPO)が記録され、その大半はアジア太平洋地域でのものであった。IPOの大多数は、例外的な少数のオファーを除き、豪\$5,000万以下のオファー規模であり、主に包装食品で行われたものであった。

年間のIPO件数の推移を見ると、当期は過去の時期と比較してIPO件数が減少している。この傾向は、前述した取引傾向と一貫しており、いくつかの要因が世界経済の成長見通しの不確実性の一因となっているからである。

それにもかかわらず、特筆すべきことは、2019年に数多くの大規模なIPOが行われ、このために**その年の世界公募価格は豪\$103億に達した**。調達された公募価格合計に基づき、2019年は、ディールトラックレポートを作成して以来、IPO資金調達において最高の業績結果に達成した。2019年の業績は、香港証券取引所でBudweiser Brewing CompanyによるAPACのIPOが成功したことが主な要因であり、2019年9月に豪\$74億豪を調達した。しかし、2019年12月31日現在、この株式は、2019年第4四半期の中国でのビール販売量が予想を下回ったことを受けて、公募価格に対して5%の割引価格で取引されていた。

包装食品・肉のサブセクターにおける注目すべきIPO上場は、**Beyond Meat**によるものであった。このプラントベースの肉代替たんぱく質食品会社は、2019年5月に米国ナスダックに上場され、総収益は豪\$3億4,200万に達した。このリストには、植物由来の代替品の消費増加という急速に成長する消費者の傾向が続いている。さらに、2020年6月30日時点では、IPOと比較して、同社株の売買価格が446%というプレミアムを達成した。

## グローバルIPOと提供収入



当期の地域別IPO				
地域	新規公開株式数	オファー金額(豪\$百万)	オファー金額の総額に占める割合	平均的な価格変動%
アジア太平洋	48	11,360	73%	33%
ヨーロッパ	4	3,786	24%	-28%
北米	2	351	2%	228%
<b>合計</b>	<b>54</b>	<b>15,496</b>	<b>100%</b>	

当期のサブセクター別IPO				
サブセクター	IPO数	公募価格(豪\$百万)	公募価格総額に占める割合	平均的な価格変動%
農産物	9	40	0%	-10%
酒類製造業	2	7,399	48%	-33%
蒸留酒製造・ワイン醸造業者	1	12	0%	-40%
パッケージ食品・食肉	40	8,043	52%	53%
清涼飲料	2	2	0%	-7%
<b>合計</b>	<b>54</b>	<b>15,496</b>	<b>100%</b>	

Note: Average Price Movement have been calculated based on the price movements between issue date and 30 June 2020

# IPO件数

## グローバルIPO活動(続き)

アジア太平洋地域内では、数量の観点から**インドが主導的な立場**にあり、包装食品・食肉および農産物のサブセクター内で合計22件のIPOが行われた。これは主に、2018年にインドで観測されたIPOの取引高が全体的に急増したことを反映している。これらの企業が引き上げた平均公募価格は豪\$360万であり、総公募価格は豪\$7900万である。平均取引価格は、上場価格と比較すると、2020年6月30日には全体的に17%の下落が見られた。

**中国は、数量ベースでアジア太平洋地域第2位**で、世界のIPOの33%を占めている。発行規模で上位10社中7社を達成し、包装食品・食肉サブセクターが主要分野で、平均取引価格も76%の上昇を達成した。興味深いことに、米中貿易戦争にもかかわらず、中国は2019年に世界で最も好調な主要株式市場のひとつとなった。

## オーストラリアのIPO活動

オーストラリアは当期5件の公募増資を記録し、調達総額は豪\$9,900万となったが、グローバルIPOの上位10社には入っていない。

数量と全オファーを見ると、オーストラリアはアジア太平洋地域で中国、インドに次いで第3位となっている。IPOは、乳製品、持続可能な食品生産と農業、クラフト飲料・健康食品などの主要なセクターの成長分野に焦点を当てた企業で構成されている。オーストラリアのIPOの概要については、後のページに詳述している。

全体的に、2020年6月30日の平均株価の下落は、オーストラリアのIPOの公募価格と比較すると、農産物・醸造産業全体で見られたが、包装食品・食肉は堅調に推移した。

当期のアジア太平洋地域別IPO				
国	新規公開株式数	オファー金額 (豪\$百万)	オファー金額の 総額に占める割合	平均価格変動率 %
インド	22	79	1%	-17%
中国	15	3,727	33%	142%
オーストラリア	5	99	1%	-4%
香港	2	7,395	65%	-28%
シンガポール	2	33	0%	-60%
ニュージーランド	2	28	0%	10%
<b>合計</b>	<b>48</b>	<b>11,360</b>	<b>100%</b>	

(注)平均価格推移は発行日から2020年6月30日までの価格推移を基に算出

提供規模別の当期のIPO				
提供範囲	新規公開株式数	オファー金額 (豪\$百万)	オファー金額の 総額に占める割合	平均価格変動率 %
豪\$1,000万未満	26	90	1%	-25%
豪\$1000万-5000万	12	204	1%	-14%
豪\$5,000万~1億	2	177	1%	334%
豪\$1億~2億	7	925	6%	223%
豪\$2億~5億	3	851	5%	155%
豪\$5億以上	4	13,250	86%	7%
<b>合計</b>	<b>54</b>	<b>15,496</b>	<b>100%</b>	

当期オーストラリアのサブセクター別IPO				
サブセクター	新規公開株式数	オファー金額 (豪\$百万)	オファー金額の 総額に占める割合	平均価格変動率 %
農産物	2	26	26%	-28%
酒類製造業	1	16	16%	-4%
包装食品・食肉	2	57	57%	18%
<b>合計</b>	<b>5</b>	<b>99</b>	<b>100%</b>	

# 世界のIPOトップ10位

1	<p>発行者: Budweiser Brewing Company APAC Limited            国: 香港(SEHK:1876)            産業: 醸造者            提供日: 2019年9月27日            提供規模: 豪\$73億8300万            IPO価格: 豪\$5.09            2020年6月30日価格: 豪\$4.21            価格変更: -17%            内容: 主に中国、オーストラリア、韓国、インド、ベトナムにおけるビールの生産、輸入、マーケティング、流通、販売</p>	6	<p>発行者: CSPC Innovation Pharmaceutical Co Ltd            国: 中国(SZSE:300765)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2019年3月21日            提供規模: 豪\$2億5,800万            IPO価格: 豪\$5.15            2020年6月30日の価格: 豪\$4.62            価格変更: -10%            内容: カフェイン、ビタミンC健康サプリメント、飲料製品の製造・販売</p>
2	<p>発行者: JDE Peet's N.V            国: オランダ(ENXTAM:JDEP)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2020年5月29日            提供規模: 豪\$37億6760万            IPO価格: 豪\$52.75            2020年6月30日の価格: 豪\$58.81            価格改定: +11%            内容: オランダおよび海外の消費者ニーズに応えるため、様々なコーヒーや茶製品を提供</p>	7	<p>発行者: Jiangsu Lihua Animal Husbandary Co Ltd            国: 中国(SZSE: 300761)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2019年2月15日            提供規模: 豪\$2億5,100            IPO価格: 豪\$6.09            2020年6月30日の価格: 豪\$7.90            価格変更: +30%            内容: 中国における牧草地鶏農業に従事</p>
3	<p>発行者: China Feihe Limited            国: 中国(SEHK:6186)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2019年11月12日            提供規模: 豪\$12億5200万            IPO価格: 豪\$1.40            2020年6月30日の価格: 豪\$2.90            価格変更: +107%            内容: 中国、香港、米国、カナダで乳児用ミルク製品を製造・販売</p>	8	<p>発行者: Hunan Xiangjia Animal Husbandry Co Ltd.            国: 中国(SZSE:002982)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2020年4月21日            提供規模: 豪\$170.6            IPO価格: 豪\$6.66            2020年6月30日の価格: 豪\$21.14            価格改定: +218%            内容: 家禽の繁殖、屠殺および加工サービス提供、冷製肉製品も提供</p>
4	<p>発行者: Hebei Yangyuan Zhihui Beverage Co., Ltd.            国: 中国(SHSE:603156)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2018年2月2日            提供規模: 8億4800万豪ドル            IPO価格: 15.76豪ドル            2020年6月30日の価格: 4.41豪ドル            価格変更: -72%            内容: 研究開発、加工、生産、野菜たんぱく質食品・飲料の流通事業</p>	9	<p>発行者: Guilin Seamild Foods Co Ltd Co.            国: 中国(SZSE:002956)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2019年6月18日            提供規模: 豪\$1億5,400万            IPO価格: 豪\$7.72            2020年6月30日の価格: 豪\$11.18            価格変更: +45%            内容: 健康食品会社、オート麦製品の研究・開発・生産・管理</p>
5	<p>発行者: Beyond Meat Inc.            国: 米国(NasdaqGS:BYND)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2019年05月1日            提供規模: 豪\$3億4200万            IPO価格: 豪\$35.52            2020年6月30日の価格: 豪\$194.06            価格改定: +446%            内容: 食品会社、プラントベース精肉食品提供</p>	10	<p>発行者: Youyou Foods Co Ltd Co.            国: 中国(SHSE:603697)            産業: 包装食品・食肉            提供日: 2019年4月25日            オファー規模: 豪\$1億3200万            IPO価格: 豪\$1.67            2020年6月30日の価格: 豪\$4.14            価格改定: +149%            内容: 肉・野菜の研究・開発・生産・販売</p>

# オーストラリアのIPO

1	<p>発行者: NuChev Limited (ASX:NUC) 産業: 包装食品・食肉 提供日: 2019年12月9日 提供規模: 豪\$8億6500万 IPO価格: 豪\$2.6 2020年6月30日の価格: 豪\$2.29 価格変更: -12% 内容: 健康・栄養ソリューション企業で、アジア・オセアニアの消費者向けに、ヤギ乳をベースとした粉ミルクや栄養製品を生産、マーケティング、販売</p>
2	<p>発行者: Duxton Broadacre Farms Limited (ASX:DBF) 産業: 農産物 提供日: 2018年7月2日 提供規模: 豪\$21億1100万 IPO価格: 豪\$1.5 2020年6月30日の価格: 豪\$1.05 価格変更: -30% 内容: 高品質で効率的なオーストラリアの農場の分散されたポートフォリオへのエクスポージャーを投資家に提供する農産物投資会社</p>
3	<p>発行者: Founders First Limited (ASX:FFL) 産業: 醸造者 提供日: 2019年12月13日 提供規模: 豪\$15億7800万 IPO価格: 豪\$0.50 2019年12月31日価格: 豪\$0.26 価格変更: +9% 内容: 創業者と共同で選別されたクラフト飲料事業に投資し、資本、販売・マーケティング、サプライチェーン・マネジメントのノウハウ、会場運営を通じて成長を加速させる。</p>
4	<p>発行者: Angel Seafood Holdings Limited (ASX:AS1) 産業: 包装食品・食肉 提供日: 2018年2月19日 提供規模: 豪\$800万 IPO価格: 豪\$0.20 2019年12月31日価格: 豪\$0.14 価格変更: -30% 内容: 現在コフィン湾で操業している南オーストラリアを拠点とする養殖会社で、有機認証を受け、オーガニックで持続可能なカキを生産、製造、販売</p>
5	<p>発行者: Wide Open Agriculture Limited (ASX:WOA) 産業: 農産物 提供日: 04/07/2018年7月4日 提供規模: 豪\$500万 IPO価格: 豪\$0.20 2019年12月31日価格: 豪\$0.40 価格変更: +100% 内容: オーストラリアの再生食品・農業会社として運営</p>



グラント・ソントンについて

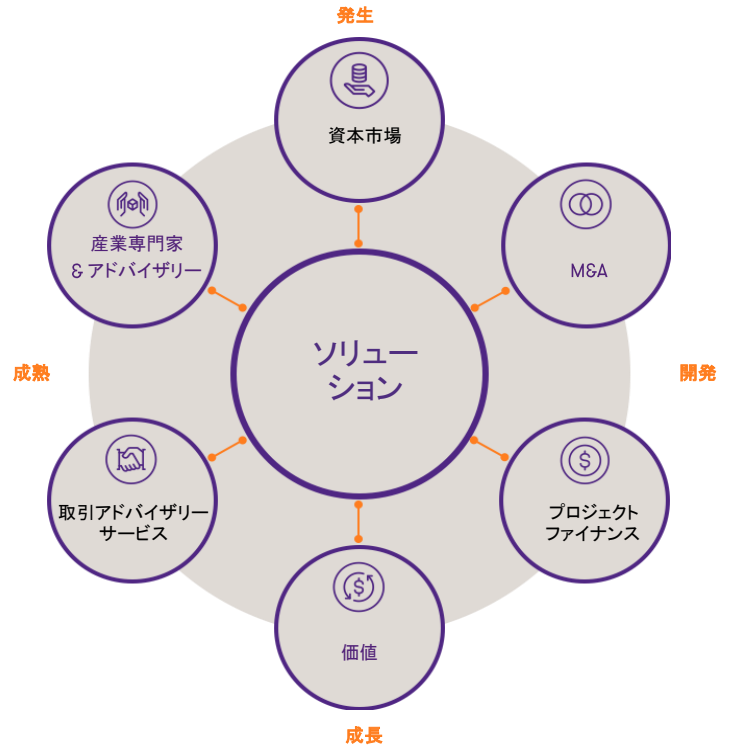


# ビジネス成長のあらゆるステージで お客様をサポート

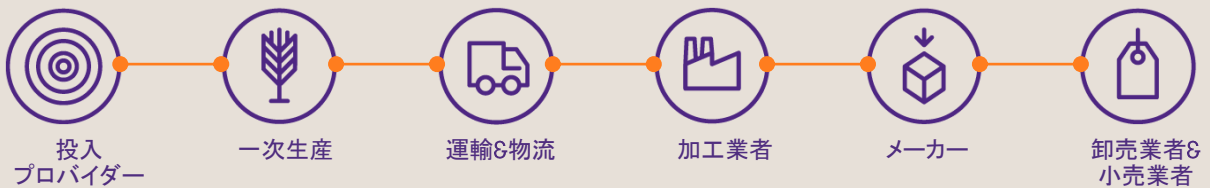
豊富な土地、天然資源、良質な製品の評判を背景に、オーストラリアのアグリビジネス・飲食産業は、継続的な成長と投資において優位な立ち位置にあります。

グラント・ソントンは、事業を運営する上での圧力や、戦略的目標に到達するためのステップを理解しています。その経験を生かして、生産・輸送、加工、製造、流通に至る、食飲料産業のライフサイクルのあらゆる段階においてお客様を支援してきました。

ビジネスが最新の業界のトレンドやイノベーションを利用できるよう支援し、輸出、国際貿易、合併・買収、サプライチェーン管理、資金調達、税務、監査などに関する専門的で実用的なアドバイスを提供します。



## アグリビジネス・飲食業のサプライチェーンを包括的にサポート



## 連絡先



**キャメロン・ベーコン**  
パートナー・コーポレートファイナンス  
cameron.bacon@au.gt.com



**荒川尚子(あらかわしよこ)**  
ジャパンデスク・リーダー  
shoko.arakawa@au.gt.com

様々な民間企業、公開会社、プライベート・エクイティ・ファンドにM&Aサービスを提供している。グラント・ソントン・オーストラリアのアグリビジネス・飲食産業チームのビクトリア州でリーダーとして、M&A、事業売却、資本調達、国境を越えた取引に関する豊富な経験を有している。

ビクトリア州の地方で育ち、西ギブスランド地域における強いコネクションも有する。

日本、オーストラリア、米国で17年以上の実務経験を持ち、M&A等を通じた国際的なビジネス展開・拡大に関する多面的なビジネス・アドバイザーに従事。バイリンガルの多様性と適応力を屈指して、異なる文化や分野のチームをとりまとめながら、日豪企業間のクロスボーダー取引において、顧客とその幅広い利害関係者の目的達成に対して実践的な系克作を追求し提案・実行している。

# 当社について

## グラント・ソントン

グラント・ソントン・オーストラリアは、ダイナミックな組織が成長の可能性を開拓できるよう支援するビジネス・アドバイザー企業です。当社のブランドは、資本市場、規制当局、国際基準設定機関によって認知された主要なグローバル会計企業の1つとして、世界的に尊重されています。

当社は、常にお客様とともに進化・発展を遂げてきました。

グラントソントン・オーストラリアは、1,300人以上の従業員がアデレード、ブリスベン、ケアンズ、メルボルン、パース、シドニーのオフィスに属しています。サービスの幅広さ、豊富な専門知識、業界の洞察力和、アプローチしやすい「顧客第一」の考え方、包括的で実用的な商業的視点を組み合わせて、サービスを提供します。

## グローバル規模と敏捷性

当社は、変化するニーズに十分に対応する柔軟性を保持し、一歩先を行く際に役立つ洞察力和機敏さを備えています。135カ国以上におよぶ5万3,000人以上のグラント・ソントンのコンサルタントが、お客様、同僚、そしてそのコミュニティのさらなる進化に従事しています。

グラント・ソントンは、民間企業、上場企業、公共セクターのクライアントをサポートする中で、技術力や業界知識だけでなく、さまざまな働き方が求められていることを認識しています。当社のメンバー企業のパートナーとチームは、貴社のビジネスを真に理解するために時間を投資し、真の洞察と新たな視点を提供します。

企業の国内外への志を問わず、グラント・ソントンは成長の可能性を開拓する上でサービスを提供します。

## 当社の概要



豪\$2億5820万  
[豪\$2019年度収入]



156名  
パートナー



6  
国内オフィス



1,300+  
国内従業員



米\$57億2000万  
[米\$2019年度収入]



53,000+  
コンサルタント



700+  
オフィス



135+  
か国

## 専門分野



アグリビジネス、  
飲食業



自動車



小売



ライフ・サイエンス



金融業



医療& 養護



エネルギー&資源



製造



非営利



プロフェッショナル  
サービス



政府・公的機関



不動産&  
建設



テクノロジー & メディア

## サービス

### 監査 & アシュアランス

#### プライベート・アドバイザー

- 個人資産
- 家族経営サービス
- スーパーアニュエーション
- ビジネス・アドバイザー

#### 法人税

#### 財務アドバイザー

- フォレンジック
- コーポレートファイナンス
- 社内編成アドバイザー

#### コンサルティング

- 経営コンサルティング
- リスク・コンサルティング
- テクノロジー

#### 専門税

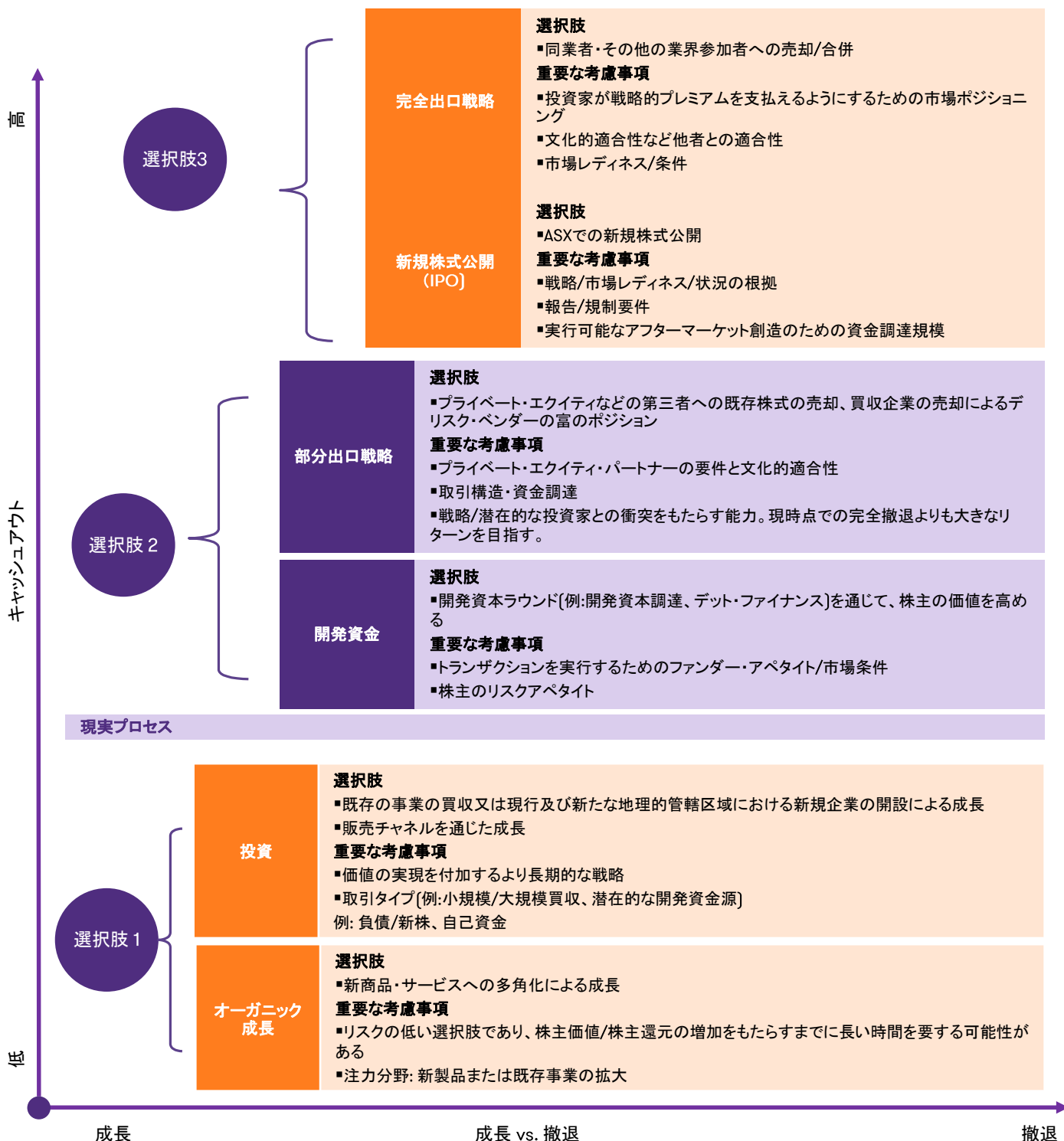
- 間接税
- 移転価格
- 報酬税



参考: 経営者の皆様へ

# 事業サイクルにおける選択肢

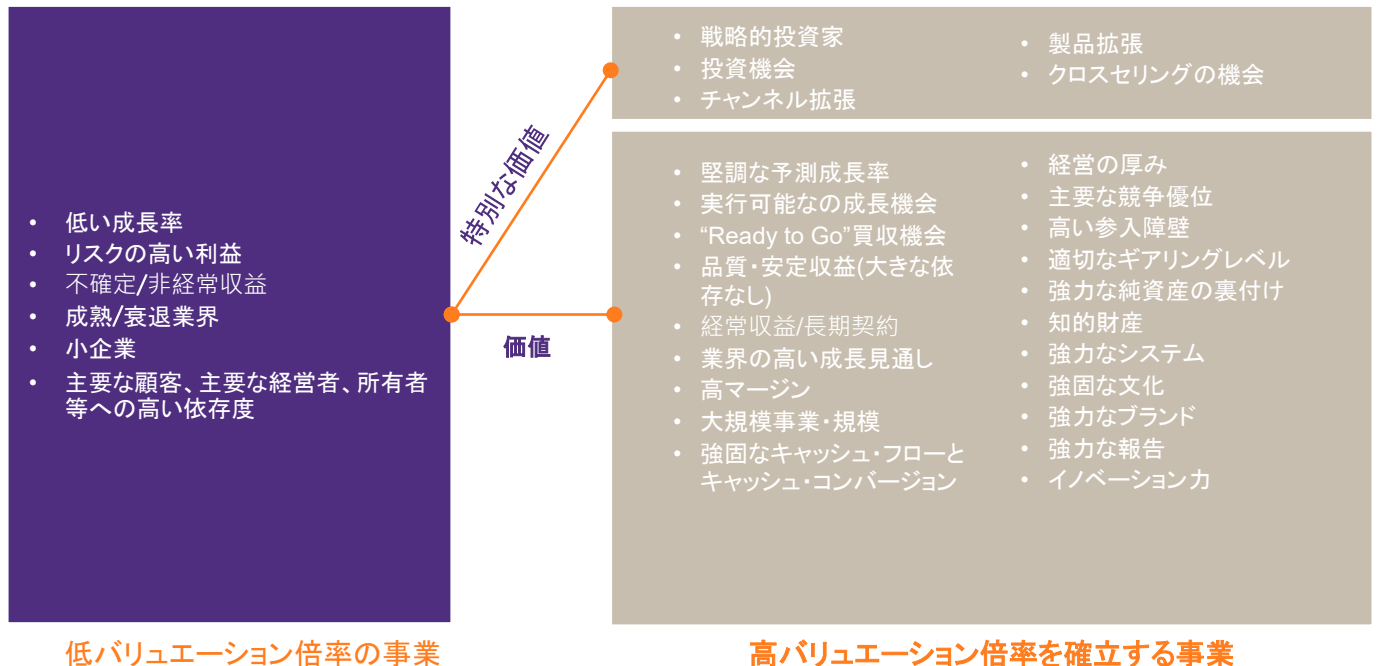
実業家・経営者が利用できる事業サイクルの選択には成長と撤退、そしてキャッシュフローを考慮することから始まります。



# ビジネス価値を最大現にするには

		はい	たぶん	いいえ
1	成長戦略を追求しているか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	ビジネスは実施可能か?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	買収によって大きな競争優位性を得ることができるかどうかを検討したか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	戦略計画の遂行を可能にするための資金があるか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	タイムリーで信頼できる経営判断を可能にし、洗練された買い手や投資家のデュー・デリジェンス要件を満たすための質の高い財務・経営報告システムがあるか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	信頼できるPLとキャッシュフロー予測が準備できているか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	運転資本管理を最適化しているか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	経営陣を有しているか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	事業計画には後継者計画または出口戦略が含まれるか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	すでに、ビジネスのバイヤーとの関係を構築しているか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## バリュエーション・倍率に影響する事項は何か?



## お問い合わせはこちらから

アグリビジネス・フード・ビバレッジ 全豪業界リーダー



荒川 尚子(あらかわ しょうこ)

ジャパンデスク・リーダー

shoko.arakawa@au.gt.com



キャメロン・ベーコン

パートナー・コーポレートファイナンス

cameron.bacon@au.gt.com

## オフィス

### アデレード

Grant Thornton House  
Level 3, 170 Frome Street  
Adelaide SA 5000  
[E info.sa@au.gt.com](mailto:info.sa@au.gt.com)

### ブリスベン

Level 18, 145 Ann Street  
Brisbane QLD 4000  
T +617 3222 0200  
[E info.qld@au.gt.com](mailto:info.qld@au.gt.com)

### ケアンズ

Cairns Corporate Tower  
Level 13, 15 Lake Street  
Cairns QLD 4870  
T +617 4046 8888  
[E info.cairns@au.gt.com](mailto:info.cairns@au.gt.com)

### メルボルン

Collins Square  
Tower 5, 727 Collins Street  
Melbourne VIC 3000  
T +613 8320 2222  
[E info.vic@au.gt.com](mailto:info.vic@au.gt.com)

### パース

Central Park  
Level 43,  
152-158 St Georges Terrace  
Perth WA 6000  
T +618 9480 2000  
[E info.wa@au.gt.com](mailto:info.wa@au.gt.com)

### シドニー

Level 17, 383 Kent Street  
Sydney NSW 2000  
T +612 8297 2400  
[E info.nsw@au.gt.com](mailto:info.nsw@au.gt.com)



grantthornton.com.au

グラント・ソーントン・オーストラリア・リミテッド ABN 41 127 556 389 ACN 127 556 389

「グラント・ソーントン」とは、グラント・ソーントンの会員企業が、その顧客に保証、税務、アドバイザリー・サービスを提供するブランド、および/または、状況に応じて1社以上の会員企業を指すブランドを指す。Grant Thornton Australia LimitedはGrant Thornton International Ltd (GTIL)の会員企業である。GTILと会員企業は、世界的なパートナーシップではない。GTILと各メンバーファームは別々の法人組織である。サービスは会員企業が提供する。GTILは顧客にサービスを提供していない。

GTILおよびその会員企業は、互いの代理人ではなく、互いに義務を負わず、互いの作為または不作為に対して責任を負わない。オーストラリアの文脈においてのみ、「グラント・ソーントン」という用語は、グラント・ソーントン・オーストラリア・リミテッド ABN 41 127 556 389 およびそのオーストラリアの子会社および関連会社を指すことができる。

専門職基準法に基づき認可されたスキームにより限定された責任。

Grant Thornton Australia Limited ABN 41 127 556 389 ACN 127 556 389

‘Grant Thornton’ refers to the brand under which the Grant Thornton member firms provide assurance, tax and advisory services to their clients and/or refers to one or more member firms, as the context requires. Grant Thornton Australia Limited is a member firm of Grant Thornton International Ltd (GTIL). GTIL and the member firms are not a worldwide partnership. GTIL and each member firm is a separate legal entity. Services are delivered by the member firms. GTIL does not provide services to clients. GTIL and its member firms are not agents of, and do not obligate one another and are not liable for one another’s acts or omissions. In the Australian context only, the use of the term ‘Grant Thornton’ may refer to Grant Thornton Australia Limited ABN 41 127 556 389 and its Australian subsidiaries and related entities.

Liability limited by a scheme approved under Professional Standards Legislation.